平成24年度 予算審査のあらまし

平成二十四年度一般会計予算及び十特別会計予算（総額二千二百六十六億六千二百九十七万九千円）並びに議案第六十七号「藤沢市介護保険条例の一部改正について」の計十二議案は、三月十六日に設置された予算等特別委員会において七日間にわたり審査が行われました。
その結果、三月二十八日の本会議ですべて可決されました。
ここでは、予算等特別委員会の審査の概要をお知らせいたします。

フィルム・コミッション
ロケ弁コンテストを開催
地元食材の使用で地産地消を発信

質問　湘南藤沢フィルム・コミッション事業について、平成二十四年度にロケ弁コンテストを開催するとのことだが、具体的な内容について聞きたい。

答弁　ロケ弁コンテストについては、二十四年度が湘南藤沢フィルム・コミッション事業を設立して十年となるため、記念企画として開催を予定している。地元の食材を使用したロケ弁について具体的な検討を進めているが、開催に当たっては運営方法、開催場所、企業団体からの支援等が必要となるため、現在、事業化に向け調整を図っている。

質問　ロケ弁コンテストが将来的にどのように発展していくと考えているのか。地元食材の使用ということであれば、地産地消のPRにもなると思うが、どうか。

答弁　本市には海の幸や山の幸が豊富にあるため、地産地消を発信できるロケ弁を弁当業者に作ってもらいたいと考えている。そのロケ弁を食べたことにより、ロケ隊の印象に残るロケ地として次の誘致に結びつくものと考えている。将来的には、市民にもロケ弁を販売することで、販路拡大につなげたいと考えている。

平成24年度に設立10年を迎える湘南藤沢フィルム・コミッション

地域の実情に即した緑の実施計画を策定

質問　緑の実施計画について、策定に向けた考え方と今後のスケジュール等について聞きたい。

答弁　緑の実施計画は、緑の基本計画を実現させるため、市内十三地区ごとに、地域の実情に即した緑地保全や緑化政策、そのほか緑に関する普及啓発等を具体的に位置づけ、市民と協働で取り組むもので、この実施計画の策定により、詳細で実効性のあるみどり施策を展開することが可能となるものと考えている。

今後、各市民センターを中心に市民を交えて個別に策定に取り組む予定だが、その過程で、必要に応じて関係機関等と調整を図るとともに、みどり保全審議会に対し経過を報告し、意見を伺っていく。現在、各市民センターとの調整に向けた素案作りに取り組んでおり、平成二十四年度中の策定を目指していく。

魚介類放流事業 放流数拡大の目的は

質問　放流事業については、平成二十四年度に一部の放流魚種を変更し、放流数を拡大するとのことだが、内容について聞きたい。

答弁　魚介類の放流事業については、二十四年度はカサゴからメバルに魚種を変更する予定である。メバルやクロダイなどの魚種は主に釣り客に人気があり、漁業協同組合に加入している遊魚経営者から放流の要望があった。これらの魚種については、個体数が減少傾向にあり、神奈川県との調整の中で、新たな魚種の追加が難しいこと、放流数を確保し、一度に放流する方が効果的であること等の見解が示されているため、二十四年度はメバルの放流を予定した。また、全体の放流数については、二十三年度は合計六万六千尾、二十四年度は七万五千六百尾と拡大する予定であるが、これは、放流数の拡大によって、稚魚が育って成魚となり、また稚魚を生むというサイクルが保たれ、放流事業を効果的なものとするためである。

市民の家の環境整備 ネット回線試験導入

質問　市民の家については、利用団体が有効に活用できるよう、インターネット回線の導入が望まれるが、これまでの検討状況と今後の課題について聞きたい。

答弁　各地域の市民の家の利用状況やニーズを把握するため、本年一月に利用者アンケートを実施した。また、すでに自費でインターネット回線を引き込み利用している老人クラブ連合会の役員とも意見交換を行い、IT関連教室の開催など活発な活動の様子についても聞いている。今後はアンケート結果を踏まえ、モデルとなる市民の家を選定し、試験的にインターネット環境整備を行い、課題の整理と導入効果を検証した上で、今後の整備について判断していきたい。

パスポートセンター 開設の周知方法は

質問　パスポートセンターが、本年七月に開設するが、開設後に横浜等でパスポートを取得しようとする場合の対応について聞きたい。

答弁　パスポートセンターについては、神奈川県からの事務移譲を受け、茅ヶ崎市、寒川町との二市一町において開設準備を進めている。開設後は、就労、就学等やむを得ない事情により移譲先での申請が困難な場合に限り、市民が県のパスポートセンターを利用できるように進めていきたい。

質問　開設について、市民へのさらなる周知が必要と考えるが、今後の取り組みについて聞きたい。

答弁　五月上旬に県及び二市一町それぞれの広報紙を利用して周知を図る予定であり、六月には、二市一町の全世帯に対するポスティングを行い、周知を図っていきたい。

市民が測る放射能 測定結果の公表は

質問　市民みずからが測定を行っている放射能測定器運営協議会への測定依頼の状況と今後の市の支援について聞きたい。

答弁　測定依頼については、一カ月程度待つ状況となっている。今後も放射能測定器の維持管理等協議会のメンバーではできない内容を市が支援し、共に活動していきたい。

質問　これまで、協議会の測定結果は公表されていないが、今後は公表していくのか聞きたい。

答弁　測定結果について協議会では依頼者本人に知らせ、依頼者の責任のもとで取り扱ってきた。今後は、市と協議会とで定めた協定に基づき、測定依頼者の公表に関する意思確認を行い、依頼者が公表を希望する場合には、一定のルールのもとで市のホームページでの公表を進めていきたい。

卒業アルバム購入費を追加
就学援助費の対象拡大
保護者の経済的負担の軽減を図る

質問　保護者の経済的負担の軽減や経済的理由による未就学の解消などを目的とする就学援助費に、新たに卒業アルバム購入費が支給費目として追加されたが、その理由を聞きたい。

答弁　平成二十三年度より藤沢市就学援助拡充事業検討部会を設置し、援助が必要な費目として、生徒会費、PTA会費、クラブ活動費及び卒業アルバム購入費について検討を行った。生徒会費とPTA会費は徴収の有無や徴収金額が学校によって違うため、支給費目とした場合、保護者に不公平感を与えると考えた。また、クラブ活動費は小学校では児童が個々に用意するものは少なく、中学校では課外活動補助金により、クラブ活動の助成を行っている。卒業アルバム購入費は経済的理由により未購入の家庭があるため、不公平感を保護者が持たないことや認定者全員が対象となることを考慮して支給費目とした。

肺炎球菌ワクチン 再接種を防ぐ方法は

質問　高齢者への肺炎球菌ワクチンの予防接種事業について、ワクチンの抗体の持続期間は五年から八年であるが、対象者が接種したことを忘れて、この期間が経過する前に再接種してしまうことが考えられる。再接種を防ぐ手だてについて、市の考えを聞きたい。

答弁　五年以内に再接種をした場合、初回接種に比べて、痛みや強い局所反応が発現する可能性がある。こうした事態が起こらないよう、実施要領を一部変更し、接種希望者本人が所定の申請書を市に提出し、市は接種記録から未接種者であることを確認後、助成券を渡すことで、再接種を防止していきたいと考えている。

副市長に石井氏、藤間氏
監査委員の選任等にも同意

○副市長の選任について

平成二十四年三月三十一日をもって副市長の山田秀一氏が任期満了となるため、次の二名を新たに副市長に選任することについて議会の同意を求めるもの。

議会はこれに同意した。

任期は二十四年四月一日から二十八年三月三十一日までの四年間。

・石井恒男氏（藤沢市大庭在住）
・藤間豊氏（藤沢市遠藤在住）

○監査委員の選任について

議会選出の監査委員に欠員が生じたため、新たに選任することについて議会の同意を求めるもの。

議会は柳田秀憲議員の選任に同意した。

○藤沢市個人情報保護審査会委員の委嘱について

藤沢市個人情報保護審査会委員が平成二十四年三月三十一日をもって任期満了となるため、次の五名を委員に委嘱することについて議会の意見を求めるもの。

議会はこれに同意した。

任期は二十四年四月一日から二十六年三月三十一日までの二年間。

・小澤弘子氏（再任、鎌倉市在住）
・篠崎百合子氏（再任、鎌倉市在住）
・田中則仁氏（再任、横浜市在住）
・吉田眞次氏（再任、横浜市在住）
・小林純二郎氏（新任、藤沢市在住）

議員全員協議会を開催

議員全員協議会は、三月五日に開催され、市庁舎等再整備の事業手法に関する民間アイデア募集の取りやめについて報告を受け、これに対し、質疑を行った。

〈市の説明〉

市庁舎等再整備について、民間の技術や資金等を活用したアイデア募集を行ったが、東日本大震災によって、庁舎機能が分散している現状を踏まえると、現計画では、市庁舎整備に時間を要する等の理由により、募集の取りやめを行った。

平成24年度予算等特別委員会委員

委員長	村本夫紀子
副委員長	竹塚雅昌
〃	加藤なを広
〃	市川和人
〃	桜井直子
〃	脇礼崇
〃	佐藤清喜
〃	浜元輝幸
〃	松泰也
〃	友久代
〃	東正人
〃	武淳基
〃	吉田一
〃	加藤

4月1日付で会派名の変更がありました。

（新）かわせみクラブ

（旧）民主・社民